研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16048
課題名	脳卒中患者に対する離床プログラム導入の効果
研究期間	西暦 2016 年　8 月　26 日　～　2017 年　3 月 31 日
利用する情報、検体	■診療情報（詳細：脳卒中で 10 階東ナースステーションに入院した患者さんで次の条件を満たした方。①入院時ＪＣＳＩ桁。②運動が禁忌となる心不全や全身的合併症がない。③主観動脈閉塞および脳出血では症状の増悪がない。） □手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：　　） □血液 □その他（　　）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 2010 年　4 月　1 日　～　2016 年　3 月　31 日
研究の意義、目的	旭川医科大学病院 10 階東ナースステーションでは 2011 年度から脳卒中患者さんに対して離床プログラムを導入しています。導入前の離床日数と、導入後の年次推移を調査し同プログラムの効果を明らかにします。 離床プログラムの早期離床への効果を把握して今後の早期リハビリのためのより効果的な看護方法について示唆を得ます。
研究の方法	入院から離床までに要した日数を調査します。 1)研究対象： 2010 年度から 2015 年度までの期間､脳卒中で旭川医科大学病院 10 階東ナースステーションに入院となった脳梗塞・脳出血患者さんでで、以下の条件を満たした方。 (1)入院時 JCS I 桁。 (2)運動の禁忌となる心不全や全身的合併症がない。 (3)主幹動脈閉塞および脳出血では症状の増悪が無い。 2)データ収集方法 2010 年度から 2015 年度までの期間､脳卒中で旭川医科大学病院 10 階東ナースステーションに入院となった患者さんに対して電子カルテで以下のことを確認します。 (1)疾患名 (2)年齢、性別 (3)発症から端坐位を行うまでの日数 (4)ICU・救命救急病棟を経て当病棟に転棟になった患者の場合、発症から端坐位を行うまでの日数 3) データ分析方法：単純集計後、統計処理を行います。
その他	

個人情報について	利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。
問い合わせ等の窓口	所属：旭川医科大学病院　7 階東ナースステーション 氏名：大宮　剛 電話番号：0166-69-3770